

The background features a large, stylized graphic on the right side, resembling a person's head and shoulders in profile, rendered in shades of grey and orange. The text is positioned on the left side of the page.

校長先生の話

2021年度の始めに



コロナ禍の2020年から2021年にかけて

昨年の今日、緊急事態宣言が発出された。あれから1年。
不自由な生活、素顔で対面できない人間関係などストレス要因は
少なくない。

緊急事態宣言解除後の新規感染者の増加と「まん延防止策」。
何がまずい、誰が悪いということではなく、期待通りにならない
ことは多いという現実。

現実なんだから、つらくても逃げるわけにいかない。

逃げちゃダメだ、逃げちゃダメだ！（by 碓シンジ in 1995）

逃げられない現実に直面して、大きな衝撃を受けたり、絶望した
りしても、少しずつでもそれを受け止めて、「だからどうする」
と考えなければならない。



様々な困難な状況でも、前に進めることもある。

競泳女子の池江璃花子選手が、日本選手権100mバタフライで優勝し、東京オリンピック400mメドレーリレーへの出場権を得た。

「苦しくてもしんどくても努力は報われるんだなと思いました。」

「まるで敗者は努力をしなかったかのようだ。」そんな疑問の声も。

「どんな人も、努力はしていると思います。ただその努力という定義も難しいな、と思います。本気で目指してきたことをたとえ達成できなかったとしても、その努力は必ず誰かが見ていて、誰かが勇気をもらえるのではないのでしょうか。」 (by 璃花子)

努力は必ずしも報われるとは限らない。むしろ、望む結果をもたらしてくれないことの方が多いと思ってい。

けれども、何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。(by 晃)



様々な困難な状況でも、前に進めることもある。

3月末、MOISはMYPの認定校になった！

MOISの取組が、スイスに本部を置く国際バカロレア機構に認められた。

みんなの日々の学習が評価されてのこと。

それを支える先生方の取組が評価されてのこと。

それを信じて、理解し協力してくれた、みんなの家族のおかげ。

思うような実践や活動が制限されていた中で、みんなよくやった！

（もう一度）何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。



様々な困難な状況でも、前に進めることもある。

第3回入学式。前期課程3学年が揃い、みんな先輩になる。

初代生徒会もスタートした。

MOISがどんな学校に「進化」「発展」していくのか楽しみ。

「退化」「衰退」していくのはイヤだ。それは、みんな次第だ。

MOISは集合体だ。生徒だけではなく、保護者も、先生方も、一人一人の成長がお互いを刺激し、さらなる成長を生む。

でも、MOISが成長すること自体は目的ではない。

目的は、MOISで学んだ君たちが、10年後20年後に、世界中の様々なところで、よりよい世界を築くことに貢献していることだ。

（さらにもう一度）何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。

昨年3月2日からの臨時休校、あれから1年1ヵ月あまり、今の状況に慣れてきたとは言え、不自由な生活、素顔で対面できない中での人間関係など、ストレス要因は少なくありません。しかも緊急事態宣言解除後の新規感染者の増加と、それによる「まん延防止」策の実施。大阪では緊急事態宣言下よりも多い、過去最多の新規感染者数を更新しています。これは、何がまずい、誰が悪いということではなく、期待通りにならないことは多いという現実を示しています。

現実なんだから逃げるわけにいかない。逃げちゃダメだ、逃げちゃダメだ！エヴァ初号機に乗る碇(いかり)シンジ君も、25年前の1995年に歯を食いしばってそう言いました。逃げられない現実直面して、大きな衝撃を受けたり、絶望したりしても、少しずつでもそれを受け止めて、「だからどうする」と考えなければならない。それはシン・エヴァンゲリオンに限らない。シン・エヴァの話はネタバレになるのでしません。

様々な困難な状況でも、前に進めることもあります。ここでは3つの例を紹介します。

1つめ。先日、競泳女子の池江璃花子選手が、日本選手権100mバタフライで優勝し、東京オリンピック400mメドレーリレーへの出場権を得ました。去年の9月の朝礼で「病気に打ち勝つ」話をした時に、池江選手のことを話しましたが、白血病のため実戦から離れていた池江選手は、1年半ぶりの東京都の大会に出場しました。それから半年余りでの優勝です。池江選手は泣きじゃくりながらインタビューに答えて、「苦しくてもしんどくても努力は報われるんだなと思いました。」と語りました。白血病をわずらって、絶望する時を経ての優勝だけに、喜びを素直に表現したのでしょうか。

でも、私はこのインタビューを見て、それは違うんじゃないかな？と思いました。実際に「まるで敗者は努力をしなかったかのようだ。」池江選手を責めるものではないにせよ、そんな疑問の声も挙がりました。

すると、それに応えるように池江選手は、SNSで次のように発信しました。「どんな人も、努力はしていると思います。ただその努力という定義も難しいな、と思います。本気で目指してきたことをたとえ達成できなかったとしても、その努力は必ず誰かが見ている、誰かが勇気をもたらせるのではないのでしょうか。」池江選手はまだ20歳だと思いますが、きちんと返せたことは立派だと思います。

でも、私にとってはこうです。「努力は必ずしも報われるとは限らない。むしろ、望む結果をもたらしてくれないことの方が多いと思っていい。けれども、何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。」校長関田晃の言葉です。

2つめ。3月末に、MOISはMYPミドル・イヤーズ・プログラムの認定校になりました。MOISの取組が、スイスに本部を置く国際バカロレア機構に認められたわけです。これは、皆さんの日々の学習が評価されてのことです。そして、それを支える先生方の取組が評価されてのことです。さらには、MYPによる学習成果を信じて、理解し協力してくれ

た、皆さんの家族と、先生方の家族のおかげです。コロナ禍にあって、思うような実践や活動が制限されていた中で、みんなよくやったなあと思います。ここでもう一度言いますが、何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。

3つめ。今日の午後は、第3回入学式があります。前期課程3学年が揃い、ここにいる全員が「先輩」になります。先月の生徒会選挙を経て、初代生徒会がスタートしました。これから先、MOIS がどんな学校に「進化」し「発展」していくのか楽しみです。「退化」「衰退」していくのはイヤだな。それもこれもみんな次第です。

MOIS はみんなの集合体だと思います。生徒の皆さんだけではなく、保護者の皆さんも、先生方も、一人一人の成長がお互いを刺激し、さらなる成長を生むのだと思います。でも、MOIS が成長すること、それ自体は目的ではありません。皆さんによく言うように、何のためにするのか、目的は何なのか、それはとても大事です。本校の存在意義、本校の目的は、MOIS で学んだ君たちが、10年後20年後に、世界中の様々なところで、よりよい世界を築くことに貢献していることです。

更にもう一度言います。何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。しかし、多くの努力が望ましい結果をもたらさないなら、努力することをやめるのか、それでも努力をするのか、それは皆さん次第です。

今週土曜は、いよいよ第1回文化表現発表会です。皆さんのご家族も来校すると思います。さあ、いいところをみせてやろう。それをスタートに、今年も皆さんの成長を楽しみにしています。これからまた1年間、一緒に進んで行きましょう。

最後に、新年度を機に、本校から転出され、今日ここにはいらっしやらない先生方を紹介します。

英語の阿部瑠美先生は、さいたま市立常盤中学校へ転出なさいました。

体育の小原浩美先生は、さいたま市立植竹中学校へ転出なさいました。

養護の樋口晃美先生は、さいたま市立中尾小学校へ転出なさいました。

副校長の金井信也先生は、埼玉県立日高特別支援学校へ転出なさいました。

副校長の根岸君和先生は、さいたま市教育委員会へ転出なさいました。

新年度になって新たに着任された先生方を含め、これから1年、皆さんと一緒に進んでゆく先生方は全員、1年生も参加する明日の全校集会で紹介します。以上です。